

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月12日			記入者	内線 3375
部 名	土木部	課 名	河川整備課	課長名	榎田和典
事務事業名	準用河川姥川改修事業				
予算上の事務事業名	準用河川姥川改修事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			32510	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第5節 河川の整備				事業開始年度
施 策 名	第1施策 治水対策の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
河川法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	姥川改修事業の推進		1. 整備計画延長...6,500m 2. 河川幅員 ...7.28~14.40m 3. 流下能力 ...30~120m <sup>3</sup> /S		
計画年次	昭和35	年度~	平成24	年度	
4 事業形態の区分 建築・整備・重要物品購入 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
準用河川姥川は、市街化の著しい区域に位置するため、継続して整備を行ない、浸水被害の発生しない安全な河川として改修工事を進める。また、近郊緑地に接する左岸部については、自然景観の保全に努める。				市民(流域全体)	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
工事延長 97m 護岸延長 左岸 97.1m 右岸 41.5m					
6 関連・類似事業や他市の状況					
一級河川鳩川・道保川改修事業、準用河川鳩川改修事業、準用河川八瀬川改修事業					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	10,895	197,972	69,903	62,000	63,400
一般財源	10,895	197,972	69,903	62,000	63,400
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	8,390	8,010	8,070	8,070	8,070
事業コスト合計(a)	19,285	205,982	77,973	70,070	71,470
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	準用河川姥川改修事業			対象名称(単位)	整備計画延長(m)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	0	106,817	69,903	62,000	63,400
対象数	0	71	69	131	40
単位あたり経費(円)		1,502,349	1,008,701	473,282	1,585,000
前年度比			0.67	0.47	3.35

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	当該年度改修事業伸率（％）		指標式と指標の説明 $\{ ( \text{当該年度改修率} - \text{前年度改修率} ) / \text{前年度改修率} \} * 100$			
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績		4.0	16.0			
目標		4.0	16.0	1.8	0.5	
目標達成度		1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	全体改修率（％）		指標式と指標の説明 $\{ ( \text{改修済延長} / \text{改修計画延長} ) * 0.75 + ( \text{用地買収済面積} / \text{用地買収計画面積} ) * 0.25 \} / 100$			
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	71.6	74.5	86.4			
目標	71.6	74.5	86.4	87.9	88.3	
目標達成度	100.0	100.0	100.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 河川環境に配慮した整備手法の検討 コスト削減の検討			14 課題として認識されたこと 自然環境へ配慮した整備への取り組み手法の研究			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				